

2012年1月17日

ブラジル日本商工会議所会頭 近藤正樹

2012年／新年祝賀会のご挨拶

Boa Tarde. Feliz Ano Novo.
新年明けましておめでとうございます。

本日は新年の昼食会に多数ご参集頂き、誠にありがとうございます。
三輪駐ブラジル大使、小林首席領事、文協の喜多会長、———ご多忙の折、
多数ご参加ありがとうございます。

昨年、世界を振り返りますと、アラブの春、東日本大震災と原発事故、タイの洪水そしてヨーロッパ債務問題と、心が重くなる一年でした。この流れは今も続いております。今や異常とか想定外という言葉は通用しません。何でも起こりえます。すべてごく普通のこと、通常起こることとして万全の備えをすると共に、起こった際には柔軟にそして迅速に対応していくことが肝要と考えます。

また震災からの復興・復旧・再建はまだまだ道半ば。道のりは遠い。でも、我々には困難から立ち直る強い力、団結力、互助精神がありますので、必ずや早期に良い方向に向かっていくものと思えますし、また我々も忘れることなく、支援を続けていきたいと思えます。

さて会議所の活動ですが、ご存知の通り、ウェブサイトは大変充実したものになっております。是非ご覧下さい。事務局が頑張ってくれています。そして、また月例会、各種セミナー、シンポジウム、イベントそしてアンケート実施、など 回数はこちらの数になっておりますし、内容も時宜を得たものや、問題提起も含まれる等、各委員会そして各部会の活発な活動が見られています。益々期待される会議所となりつつあります。

また 昨年8月には日伯合同経済委員会、そして日伯貿易投資委員会が開催され、ビジネス推進上の課題、障壁、そして環境改善に関し、意見交換、協議を行い、日本ブラジル両国の経済関係強化に繋がりました。その際、議題の一つにあがりました商用ビザの件に関しましては、その後進展あり、今年初めから3年のマルチビザ適用の運びとなりました。大きな進歩です。大きな一歩です。とても嬉しく思います。人の交流なくして国の交流ありません。三輪大使初め関係者の皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。

今年6月にはリオデジャネイロで「環境サミット(リオ+20)」が開催されます。世界約100数十カ国から政財界首脳に参加が予定されています。ブラジルが取り纏め役として益々プレゼンスが高まるものと思えます。会議所と致しましても、この流れに沿い、両

国そしてグローバルの経済発展を促進すべく、官民一体すなわちオールジャパンとして取組を強化していきますので、引き続き皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、今年は選挙の年です。世界で多くのリーダーが交代するかもしれません。

昨年末、既にイタリアとスペインにてリーダーが変わりました。

今年は

3月ロシア、

4月フランス、

7月メキシコ

秋 ベネズエラ、アメリカ、そして中国、

12月韓国

来年1月 ドイツと

これから一年で多くのリーダーが交代する可能性があります。これらのリーダーは選挙を控えているということもありますがいまや自国、自分の国のことで精一杯であります。世界の立場考えるという状況ではありません。いやむしろ保護主義的な傾向が強まっております。この意味では現在世界のリーダーは不在と言ってもいいでしょう。是非ブラジルそして日本から世界をリードして行って欲しいものと思います。

日本とブラジルには100年を超える強固な絆がありますが、いまや両国はいろいろな世界の課題に関して話し合い、協力すべきパートナーであります。経済的、地理的に補完関係にあることから、両国が協力すれば大きな力になるものと確信しております。先ほど申し上げたりオ+20の会議も良いきっかけになるものと思います。

さて、私の目標の一つとして会議所そして日本のプレゼンスをブラジルにて高めることがあります。

その意味で昨年20を超える日本企業がブラジルへの新規参入を発表致しましたことはとても嬉しく、心強く感じます。会議所の会員数も着実に増えております。現在325社です。他の国に比べればまだまだ少ないです。過去最高の333社を一気に抜いて400社、500社を目指したいと思います。数は力です。是非皆様引き続き勧誘・呼びかけをお願い致します。

会議所の基本方針であります「開かれた会議所」「チャレンジする会議所」「全員参加の会議所」をベースに 会議所でしかできないこと、そして会議所としてやるべきことを整理して、実行に移していく所存です。

ゲーテの言葉を紹介致します。財を失うことは小さく失うことです。名誉を失うことは大きく失うことです。でも勇気を失うことはすべてを失うことです。

会議所として実行する元気、そして変わる勇気にて邁進していきますので、更なるご

協力、ご指導そしてご理解を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後に会員会社のご発展とご列席の皆様のご健勝を祈念致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。 ありがとうございます。 以上